

コース番号	訓練科名	定員	訓練実施施設	レベル
604J3	言語聴覚科	8名	東海医療科学専門学校	上級
●科の内容				
<p>・ことばや聞こえの障害、飲み込みの障害を持つ方や、ことばの理解や表現に困難を示す子どもに対して、検査・評価・訓練・指導を行う言語聴覚士を育成する学科です。</p> <p>・近年、摂食嚥下リハビリテーションの重要性と需要が高まっています。本学では、この分野の専門性を高めるため、著名な講師や管理栄養士、関連企業の専門家を招き、特別講義を実施しています。こうした取り組みにより、最新の知識と実践的なスキルを学べる環境を整えています。</p> <p>・OSCE（オスキー）とは、臨床能力を客観的に評価する試験です。試験では、教員が模擬患者となり、学生が実際の臨床場面を想定して検査や訓練を行います。評価の対象は、知識や技能だけでなく、患者様と接する際の態度やコミュニケーションも含まれます。</p> <p>OSCEを導入することで、講義や演習だけでは補えない実践的な能力を磨くことができます。</p> <p>・校内には、子どもたちが通所で言語指導を受けることのできる施設「ひまわり」があります。授業の中で、子どもたちの協力を得て、言語指導の演習を行います。指導を実際に計画・実施することで、言語指導の目的や方法を学びます。</p>				
●取得目標資格				
言語聴覚士				
●就職先の主な職務				
聴力や音声機能、言語機能の検査及び訓練や助言を行うほか、摂食・嚥下機能の問題にも専門的に対応しています。				
●独自の就職支援活動				
専用の就職支援室（キャリアサポートセンター）を校内に設置し、就職については、どんなことでも気軽に相談が受けられる体制を整えています。専任教員も学生面談で本人の進路希望を把握し、相談・支援を行っています。				
●訓練に用いる主な設備等				
自記オーディオメーター、発声発語器官検査用具、神経心理学検査・言語検査用具、訓練観察用映像システム				

	科目	科目の内容	時間数
学 科	専門基礎分野 合計30科目	医学概論、臨床心理学、学習・認知心理学、言語学、音声学、社会保障制度など、医療従事者としての基本的態度と言語聴覚士になるために必要な基礎知識を学ぶ	895
	専門分野 合計30科目	失語症、高次脳機能障害学、言語発達障害学、嚥下障害、聴覚障害など、個々の障害を理解し、支援に必要となる評価・検査・訓練の手順について習得する	985
	キャリアサポート講習 入学オリエンテーション 等		8
		小 計	1888
実 技	臨床実習 合計 3 科目	臨床実習 I 、臨床実習 II 、臨床実習 III	600
		小 計	600
		合 計	2488

※ 訓練開始日に入校式、訓練最終日に修了式を実施します。